

事業所名

児童ルームスマイル(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

7年

3月

1日

法人(事業所)理念		「子どもたちが楽しめること」をモットーに 障がいのある子もない子どもたちも 保護者も職員も みんなが笑顔でいられる 居場所づくりを目指します								
支援方針		得意な事は伸ばし、苦手な事は少しでも頑張れるように個別療育を行いスキルを上げ、お子様や保護者の方の笑顔が少しでも増やせるように取り組みます。								
営業時間		9時	0分	から	14時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握・健康の増進・それぞれの子どもに適した身体的、社会的訓練・個別化を行い基本的な生活スキルの獲得・構造化による生活環境の整備								
	運動・感覚	・姿勢と運動、体の使い方の向上・保有する感覚の活用・感覚の補助及び代行手段の活用・感覚の特性への対応・微細運動、粗大運動の向上								
	認知・行動	・感覚や認知の活用・知覚から行動への認知過程の発達・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成・認知の偏りへの対応								
	言語 コミュニケーション	・表出言語の支援・大人との関わりによるコミュニケーション能力の獲得・コミュニケーション手段の活用・指差し、身振り、サイン等の活用								
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成・模倣行動の支援・一人遊びの支援・小集団への活動の促進								
家族支援		必要に応じて相談支援を実施する・個人面談				移行支援		移行支援会議への参加・個人面談		
地域支援・地域連携		幼稚園、保育園、他事業所との連携を図る				職員の質の向上		月に一度の内部研修(外部講師)・各種外部研修への参加		
主な行事等		水遊び・バルーンフェスタ参加・参観日・保護者会・クリスマス会・節分・修了式								

児童ルームスマイル（児童発達支援） 5領域の具体的支援

健康・生活

身の自立（排泄、食事、衣服の着脱等）を一人ずつ自立度を確認し、スモールステップにて自分で出来るように促していきます。

認知・行動

スケジュールの理解を深めるとともに、活用でき、活動に移行できるように支援していきます。（具体物、イラスト、カード等）

様々な課題を通して、指先の動き、見る力、考える力を養っていきます。

運動・感覚

微細運動 → 指先の分化の具合を見ていきながら、指先の訓練をしていきます。（粘土遊び、課題等）

粗大運動 → 遊戯室では、トランポリンや平均台、ボール遊び、園庭では、砂遊び、土管くぐり。

公園では、交通ルール、滑り台等の固定遊具。

様々な場所で体を動かすことの楽しさを伝えていきます。

人間関係・社会性

社会性の段階を見ていきながら、少しずつ周りの大人や子どもたちに目が向く様に促していきます。

まずは大人と関わることから始めて、関わり方を少しずつ伝えていきます。

言語・コミュニケーション

名詞カードやファイル課題を通して、物の名前を深めていくと共に発語を促していきます。

指導員と、1対1での対話を通して、会話（コミュニケーション）を促していきます。

家庭支援

- ・適宜相談支援を行います。
- ・個別支援計画時には、モニタリングを含めた現状の確認を行います。会議等の出席、参加をすることで、共通理解を深めていきます。
- ・年に1回参観日を行うことで事業所で行っている療育を見て頂きお子様がどのように過ごしているのかどのような課題を行っているのかを詳しくご説明致します。
- ・個人面談、保護者会も行っています。

地域支援・地域連携

- ・お散歩等を通して、交通ルールを伝えていきます。
- ・本児が通っている、幼稚園、保育園と連携をとっていきながら、共通理解を深めると共により良い療育内容を話し合っていきます。

移行支援

- ・小学校に移行するにあたって、現状をお伝えすると共に、スムーズに移行が出来るように話し合いを重ねていきます。

職員の質の向上

- ・月に1回の内部研修（外部講師を招いて）
- ・各種、外部研修
- ・オンライン研修
- ・スキルアップのための研修・・・等